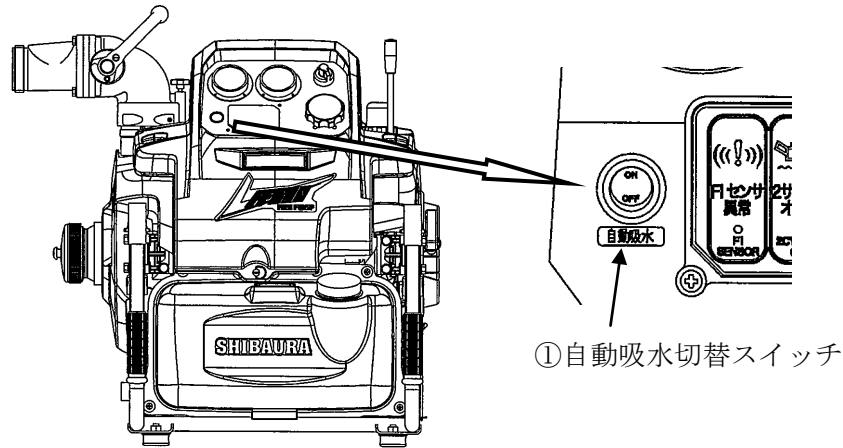


自動吸水仕様 取扱説明書 補足資料

●本消防ポンプは、自動吸水仕様となっております。取扱説明書と併せて本補足資料をご一読下さい。

各部の名称



運転方法

1. 吸水を自動的に行いたい場合（エンジン停止時）

- (1) 自動吸水切替スイッチ①を「ON」にして下さい。
- (2) 取扱説明書に記載の要領でエンジンを始動させて下さい。始動後は、スロットルを「吸水」の位置まで操作して下さい。
- (3) 自動的に真空ポンプが作動し、吸水を行ないます。
真空ポンプが作動しない時はエンジンの回転速度が高過ぎますので、スロットルを低速側に操作して下さい。

2. 吸水を自動的に行いたい場合（運転中の落水による再吸水時）

- (1) スロットルを「始動／低速」位置に戻して下さい。
- (2) 真空ポンプが作動したら、スロットルを「吸水」位置にして下さい。

3. 吸水を従来通り手動で行いたい場合

- (1) 自動吸水切替スイッチ①を「OFF」にして下さい。

自動吸水機能

1. 自動吸水機能はエンジンの始動を検知して、その回転速度が真空ポンプの定格回転速度以下の時に真空ポンプが自動的に作動し、吸水が完了すると停止します。
(エンジンの回転速度が定格回転速度以下にならなければ、約30秒でエンジンが停止します。)
2. 真空ポンプは最大で30秒間、2回作動します。その間で吸水できない場合は、自動的にエンジンが停止します。吸水出来ない場合、本紙及び取扱説明書の **不調対策** を参照して下さい。
3. 放水中に落水した時も、自動的に再吸水を行います。スロットル操作が必要になります。

点火プラグについて

本消防ポンプの使用点火プラグは NGK BR7HS です。

取扱説明書に記載されております点火プラグとは異なります。ご注意下さい。

※必ず、指定の点火プラグをご使用下さい。異なる物を使用されますと、不調の原因となります。

不調対策

※対策欄が【 】となっているものは必ず、お買い上げの特約店に点検、整備をご依頼下さい。

状況	原因・対策
自動で吸水できない	<ul style="list-style-type: none"> ・自動吸水切替スイッチがOFFになっている。→ONにして下さい。 ・回転速度が高い。→スロットルを下げて下さい。スロットルを「始動／低速」位置まで下げても吸水しない場合は、一旦エンジンを停止し、再始動を行って下さい。この再始動後吸水の際のスロットル位置は「始動／低速」位置で行って下さい。それでも吸水しない場合は手動操作にて使用し、使用後に再確認して下さい。 ・バッテリー容量不足。→バッテリーを充電して下さい。 ・点火プラグが異品。→NGK BR7HSに交換して下さい。

状況	原因・対策
	<ul style="list-style-type: none"> ・【コントローラの故障。】 ・【リレーの故障。】 ・【吸水機構のリンク部の故障。】
真空ポンプが止らない	<ul style="list-style-type: none"> ・点火プラグが異品。→NGK BR7HSに交換して下さい。 ・吸管の緩み。→吸管を締付け直して下さい。 ・【コントローラの故障。】 ・【リレーの故障。】 ・【水圧検知センサの故障。】 ・【結線の外れ。】

配線図

